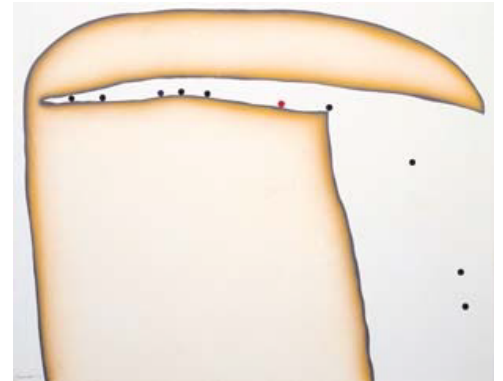


2008 年度コレクション展

「親子で楽しむアート 現代美術の世界へようこそ！」

特集 東山嘉事



元永定正《ボンボンボン》1972 年

1. 開催概要

兵庫県立美術館では、8000 点を超える作品を収蔵しています。これらコレクションの魅力を、こどもたちをはじめ、今まであまり美術館へ行ったことのない方々にも知っていただくため、2008 年度は年間を通じ、**こどもたちも親しみをもてるテーマ**により、コレクション展を行っています。

今年度 3 本目のコレクション展のテーマは「親子で楽しむ現代美術」。難解で近寄りがたいと思われている現代美術のさまざまな魅力に迫ります。美術鑑賞に「正解」はありません。親子で、友達同士であれこれ語り合いながら、作品のもつ様々な表情に触れることができるよう、絵画から立体まで当館選りすぐりの作品を展示します。

また、兵庫県三田市を拠点にユニークな創作活動を展開した東山嘉事（1934-2006）を回顧する特集コーナーも設置、批判精神とユーモアに満ちた彼の世界を紹介します。

また、兵庫ゆかりの近代日本洋画を代表する小磯良平、金山平三の 2 人の画家の記念室を展示棟 2 階に設けています。常にそれぞれの作品をご覧ください。

2. 会期等

2008 年 11 月 22 日（土） - 2009 年 3 月 15 日（日）

休館日 月曜日休館（ただし月曜日が祝日の場合開館し、翌火曜日休館）

年末年始（12 月 24 日～1 月 1 日）

2009 年 1 月 2 日～4 日は閉館します。

開館時間 午前 10 時から午後 6 時まで

特別展開催中の金・土曜日は夜間開館 午後 8 時まで

（入場はいずれも閉館の 30 分前まで）

3. 会場

兵庫県立美術館 常設展示室

4. 主催

兵庫県立美術館

5. 観覧料金

一般：500(400)[300]円 / 大高生：400(320)[240]円 / 中小生：250(200)[150]円

()内は 20 名以上の団体割引料金、[]内は特別展セット料金

兵庫県内の中小生はココロンカードの提示により無料

障害のある方とその介護の方 1 名は半額

兵庫県内在住の 65 歳以上の方は一般料金の半額

6. 展示内容

1階

特集 東山嘉事 **展示室1** 詳細は別紙をご覧ください。

絵画からオブジェまでさまざまな作品を手がけた東山嘉事の世界を紹介します。

親子で楽しむアート 現代美術の世界へようこそ **展示室1~4** 出品予定点数約75点

美術を楽しむ4つのヒント と題して「形」「文字」「もの」「色」という4つのキーワードに沿って展示を構成します。

ヒント 「形」に注目！円むすび～円をたどろう

作品に描かれた「円」という形に注目。円がどのようにとらえられ描かれ、展開しているかを近現代の作品の中に探ります。

出品される作品は・・・

田中敦子《作品》(1958年、山村コレクション・昭和61年度購入、図1)など

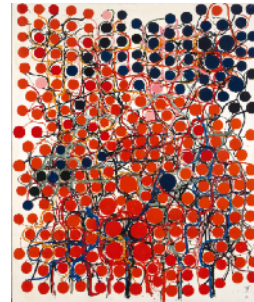


図1

ヒント 「文字」に注目！え？文字？

絵か、文字か？東洋的な線を創作にいかした作品を展示します。

出品される作品は・・・

吉原治良《作品》(1970年頃、昭和60年伊藤文化財団寄贈)、森田子龍《龍》(1972年、平成5年度美術品取得基金購入、図2)など

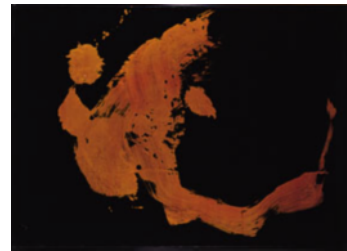


図2

ヒント 「もの」に注目！^{アート}美術って何！？

身近なものから美術は生まれます。日用品を用い、芸術とは何かを問うた1960~70年代の「もの派」を中心とする作品を展示します。

出品される作品は・・・

高松次郎《脚立の紐》(1963-85年、山村コレクション・昭和61年度購入、図3)など



図3

ちょっと一息コーナー 絵の不思議～さまざまな絵画表現

具象から抽象、絵の具以外の素材を使いさまざまな絵画表現に挑む作家たちの作品を展示します。

出品される作品は・・・

菅井汲《カドミウム・レッド 3-4》(1992年、平成19年度伊藤文化財団寄贈、図4)、詫摩昭人《逃走の線1》(2004年、平成16年度美術品等取得基金購入)など



図4

ヒント 「色」に注目！色の実験・モノトーンの世界

前半では、ウォーホルやジャスパー・ジョーンズによる作品を展示。美術における色の魅力に迫ります。後半はフランク・ステラのブラックシリーズなどモノトーンの作品の魅力を味わいます。

出品される作品は・・・

アンディ・ウォーホル《ボイス》(1980年、昭和59年度購入) 八木一夫《出発》(1974年、山村コレクション・昭和61年度購入、図5) など



図5

海外の近現代彫刻 / 安藤忠雄コーナー 展示室5 出品予定点数(彫刻)11点

出品される作品は・・・

オーギュスト・ロダン《オルフェウス》(1892年・図6) メダルド・ロツソ《新聞を読む男》(1894年) コンスタンチン・ブランクーシ《新生》(1920年) アルベルト・ジャコメッティ《石碑》(1958年)などの作品によって、海外作家による彫刻表現の変遷をたどります。また当館を設計した安藤忠雄氏の建築を紹介するコーナーも併設しています。



図6

2階

近代の洋画・日本画・彫刻 展示室6 出品予定点数約30点

2階展示室では、落ち着いた雰囲気の中で日本の近代美術の流れをたどります。展示室6では洋画を中心に、近代日本の日本画や彫刻の秀作も加えてご観いただけます。

日本画は会期中に展示替えを行います。

前期：11月22日 - 1月18日 後期：1月20日 - 3月15日

出品される作品は・・・

洋画：岡田三郎助《萩》(1908年) 林武《裸婦》(1930年) 阿部合成《見送る人々》(1938年) など

日本画：三谷十糸子《雪》(1939年、前期に展示) など

彫刻：朝倉響子《女》(1971年) など

小磯良平記念室・金山平三記念室 出品予定点数33点

神戸ゆかり、人物画と風景画の名手として知られる二人の洋画家の代表作を展示します。

金山平三記念室では、昨年度新たに収集された写真アルバムなどの関連資料も紹介します。

出品される作品は・・・

小磯良平：《T嬢の像》(1926年) 《斉唱》(1941年)
金山平三：《菊》(1921年頃・図7) 《大石田の最上川》(1948年頃) など



図7

7. 関連事業

(1) 学芸員によるギャラリートーク 12月6日(土) 1月10日(土) 2月28日(土)
いずれも午後3時から(約30分) エントランスホールに集合 要観覧券

(2) 東山嘉事 座談会「カジさんの思い出を語る」

2月21日(土)午後2時から レクチャールーム 聴講無料

出演: 島田誠(ギャラリー島田) 福永祥子(詩人) 吉川周而(陶芸家) WAKKUN(イラストレーター・絵本作家) <予定>

(3) 学芸員によるレクチャー 「1960-70年代美術を語る」出原均(当館学芸員)

1回目「60年代美術」12月13日(土)午後3時~4時 レクチャールーム 聴講無料

2回目「70年代美術」2月7日(土)午後3時~4時 レクチャールーム 聴講無料

(4) ミュージアム・ボランティアによるガイドツアー

会期中の金・土・日曜日 いずれも午後1時から(約45分)

1階、2階、屋外に分けて、コレクション展の見どころをご案内します。

1階常設展示室、2階常設展示室、屋外のいずれかで実施

エントランスホールに集合 参加無料、ただし1階、2階の場合は観覧券が必要

(5) こどものイベント

親子で美術館探検リターンズ

12月20日(土)午後1時30分~3時30分

12月21日(日)午前10時30分~12時30分

両日とも内容は同じです。定員各30名 申込制 要参加費

お問合せ TEL 078-262-0908 [こどものイベント係]

8. お問合せ先 兵庫県立美術館 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1

<http://www.artm.pref.hyogo.jp>

取材・写真提供に関すること: 営業・広報グループ

TEL:078-262-0905 FAX:078-262-0903

コレクション展 の内容に関すること: 学芸員 飯尾由貴子

iio@artm.pref.hyogo.jp TEL:078-262-0909 FAX:078-262-0913

東山嘉事展の内容に関すること: 学芸員 服部正

hattori@artm.pref.hyogo.jp TEL:078-262-0909 FAX:078-262-0913

こどものイベントに関すること: 教育支援・事業グループ

TEL:078-262-0908 FAX:078-262-0903